

平成15年度 町政執行方針



地方統一選挙が終わり、これからの4年間、清里町がどのような道を歩んで行くのか。

その道しるべともいえる町政執行方針が、6月16日から行われた第7回清里町議会定例会のなかで、橋場町長より示されました。ここに、町政執行方針を全文掲載して町民の皆さんにお知らせします。



はじめに

平 成15年第7回清里町議会定例会の開催にあたり、町政執行に対する所信を申し上げ、議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますと思います。

私は、平成7年に町長に就任以来2期8年間、一貫して「住民参加と協調のまちづくり」を町政の基本として、町民の皆さんとともにまちづくりに全力を尽くしてまいりました。

この間、内外ともに厳しい社会・経済情勢が続きましたが、議員各位並びに町民皆さんのご

支援とご協力をいただきながら、町民福祉の向上のため第3次清里町総合計画の確実な実行と新たな第4次清里町総合計画の推進を基本とし、諸課題の解決や必要な施策の推進に積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、清里町をはじめとした地方自治体をとりまく環境は、地方分権や行財政改革・市町村合併問題など、町民の皆さんとともに英知を結集し共に汗をかきながら克服しなければならぬ緊急課題が残されております。

この課題を克服するとともに、さらなる清里町の発展を願い、私は去る4月27日の町長選挙において、町民皆さんはじめ関係各方面の方々の温かいご支援とご厚情により当選の栄に浴し、町長として3期目の重責を担わせていただくことになりました。

私 は、皆さんから寄せられました大きな信頼と期待にこたえるべく、直面する課題と困難を勇気をもった改革により克服し、21世紀にふさわしい清里町の確たる基盤を自主自立の精神により築きあげる決意であります。議員各位、町民皆さん

んのより一層のご支援とご指導を賜りたくお願い申し上げます。

町政を取りまく内外の状況

さて、今、わが国は、これまでになく転換期にあり、さらに深刻な経済的、政治的、

社会的な諸課題に直面しています。しかも、その解決の方向と成否は、国のみならず、地方自治体の将来にも大きな影響を及ぼすものであります。

バブル経済の終焉以来、失われた10年」と言われるように、長期にわたってわが国の経済は停滞し、依然、回復の兆しがみえない状況であります。他方、飛躍的な情報技術の革新にもともなう産業社会の変転、人類史が経験したことのないような少子高齢社会の到来、環境問題の地



球規模への拡がり、男女平等の進展、国際化の深まりなど、新たな課題に直面しており、高度経済成長時代以来の考え方や制度の抜本的な見直しと改革が求められています。

そこで現在、国ではあらゆる分野における「聖域なき構造改革」がさげばれておりますが、問題解決への道筋や処方箋は必ずしも明らかではなく、また、それが示されたとしても、実現には多くの痛みをとまなうものと考えられます。

よ

て、ここでわが国の地方自治体の現状に目を転じれば、戦後の復興、その後の成長の担い手として大きな役割を、特に、高度経済成長期には国土の均衡ある発展の一翼を担ってきましたが、成熟の時代に入り中央集権的な制度の弊害が顕著になったことから、国と地方の

関係を規定する仕組みの大きな構造転換が行なわれました。

機関委任事務制度の廃止をはじめとした地方分権一括法が平成12年4月に施行され、国の地方自治体に対する関与が大幅に縮減されるとともに各自治体の自律性と自己決定の範囲が拡大されております。

しかし実態としては、地方分権制度のもう一つの柱であった税財政制度の改革は、経済の低迷による財政状況の悪化により大きく立ち遅れ、国は地方自治体が自立的な政策運営を実現するための財源を保障することが困難な状況となり、地方交付税をはじめ国への財政面での依存度の高いわが国の多くの自治体にとって、むしろ自己決定、自己責任の余地が拡大すればするほど自律的な自治体運営が困難なものとなってきております。

こうしたなか、国は基礎自治体である市町村の行財政基盤の強化や効率化を図る手段として、「市町村の自主的な合併」を強く推進しております。

町政推進の基本方針

一

のように、右肩上りの時代の終焉は、地方自治体に厳しい自己改革、行政改革を

求めています。これまでも増して、事務事業の見直しや効率化の努力が進められなければならぬことはいうまでもありませんが、むしろこれから必要とされるのは、従来のように国に依存した成長や発展を指向するのではなく、持続的で安定した自律的な行政システムへの構造転換を、勇気をもって実践していくことにあると考えます。

それには、従来の枠組みのまま歳出を抑制し計画の実施を繰り延べするという戦略ではなく、仕組みやシステムを抜本的に変え、今ある社会資本を積極的に活用し活かしていくという思考方法や発想に切り替えることが求められます。

従来の発想を変えず、ひたすら耐えることによつてのみ切り抜けようとすることは、かえって地域の活力の低下や行政活動の硬直化を招くものです。したがって、こうした転換と変革の時代にあつては、弾力的でしなやかな政策実施が何よりも求められることになりました。

それは言うに易くして行なうには容易なことではありませんが、幸い清

里町には多くの先人の皆さんに培っていただいた確かな産業や充実した社会基盤、加えて恵まれた自然環境、永年育んできた協調と融和の町民精神と自主的な地域での自治活動、さらには健全な財政状況が堅持されています。

私

はこの度、町長選挙にあたり、長寿時代をむかえ、人生80歳代にふさわしい、一人ひとりの健康を大切にしたい福祉の町づくり、そして、安心して働ける、快適に暮らせる、住んでいる人々が誇れる町づくりを町政推進の基本方針として掲げ



大切にしたい、みんなのふるさと
「参加」と
「協働」のよちよち歩

をスローガンとし、町民の皆さんをはじめ関係各団体の方々の温かいご支援を頂きました。

時代の転換期を迎え、清里町を取りまく環境も大変厳しいものがありますが、時代の大きな流れと現状を的確に認識し、初心に返り、町民の皆さんの幸せ向上と揺るぎない町政の自立的発展の実現に向け、全力を傾注してまいります。

議員各位並びに町民の皆さんの、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

こに、3期目4年間の町政を担当するに当たり、

私の公約とさせていただきます。5つの目標の基本的な考え方について申し上げます。

活力に満ちた産業の振興

まず、第1は「活力に満ちた、産業の振興」です。

地域経済の発展なくして活力に満ちた魅力あるまちづくりは望めません。

基幹産業である農林業や商工業の経営基盤の強化・充実は、

地域経済の活性化と雇用の確保の面からも、地方自治体にとって最も重要な課題であります。

わが国の経済は長期にわたる低迷を脱しきれず、清里町の経済に及ぼす影響も極めて大きく、厳しい状況が続いておりますが、これまで永年培ってきた豊かな産業基盤や地域特性を活かし、自立した産業の振興が重要となります。

また、斜里岳に代表される豊かな自然や美しい景観、既存の施設や新たな地域資源を最大限に活かした体験型・滞在型観光の推進による交流人口の拡大に取り組んでまいります。

仕農業の振興

まず、農業の振興でありまして、

ですが、農業を取りまく情勢はBSE（牛海綿状脳症）の発生や輸入農産物の残留農薬問題、食品の偽装表示問題など食の安全に対する信頼が大きく揺らぐ一方、WTO（世界貿易機構）農業交渉では貿易に関する基準づくりが不調に終わるなどさらに厳しさを増しています。

清里町の農業は、自然に恵まれた広大な土地と農地造成事業などにより基幹三作物による畑作と酪農を主体に大型化・近代



化を進め、今日の基礎を築いてまいりましたが、今後はさらに安全で安心できる食料の安定供給と意欲ある担い手の育成をめざし、生産基盤の確立や農業経営の安定、豊かさやゆとりある生活環境整備など魅力ある農業・農村づくりを関係団体とともに推進してまいります。

生産基盤の確立につきましては、国営畑総事業による農地造成、区画整理はほぼ整備されましたので、今後は事業完了に向けて用水路、圃場配管事業を促進し、道営畑総事業では客土、堆肥導入事業を継続して実施してまいります。

また、畑作3品を中心とした生産体制による農業経営の安定を堅持しながら、輪作体制確立のための作物導入を支援するとともに、土づくり事業として緑肥・堆肥の導入を推進してまい

ります。

農

業が魅力ある産業として発展するためには、労働条件・経済条件の確立とともに、ゆとりある農村環境の整備が重要となります。このため、農業振興事業や中山間地域総合整備事業により、農村環境の整備を進め、美しさと活力に満ちた農業・農村づくりを促進してまいります。

酪農畜産につきましては、牛乳生産量は増加し畜肉価格もBSE発生以前の価格に戻し順調に推移しております。一方、本年5月からBSE検査牛が拡大されたことともない、本年度、北見地区農業協同組合連合会が実施主体となり死亡牛処理施設の新設が計画されておりますので、その支援を行うとともに町内における対策と体制の確立を図ってまいります。



また、家畜糞尿対策につきましては排泄物管理適正化法により、明年11月までに施設の整備を完了しなければなりません。引き続き畜産環境整備事業を促進するとともに、乳質向上と牛乳の安定的な生産、さらには衛生管理対策につきましても関係機関と協議のうえ、計画的な支援を行なってまいります。

仕林業の振興

次

に、林業の振興でありまして、森林を守り続けてきた林業が採算性の悪化等により停滞し、森林の持つ国土保全や水源涵養などの多面的機能に支障を及ぼすことが危惧されております。

清里町におきましては、今後とも民有林所有者の森林育成意欲の向上を図るため、施策計画



を適切に推進し、造林・保育事業の適期実施を促進してまいります。

また、町有林につきましましては除間伐など保育管理を計画的に実施してまいりましたが、今後は防災対策や環境保全の面にも充分配慮した町有林整備計画を樹立し、学校林跡地を含めた計画的な管理と整備を推進してまいります。

仕商工業の振興

経 済 情勢に大きく左右される商工業は、不況の長期化、消費の低迷に加え解消されない金融不安など、極めて厳しい状況となっており、一刻も早い国の本格的かつ有効的な経済対策を望むものです。

また、車社会のもたらした日常生活圏の拡大と買物物のレジ



ヤー化による消費の流出は、町内の商店の売上に依然として大きな影響を及ぼしております。

商店街の発展は町の活性化に大きく影響するものであり、魅力ある商店街づくりは極めて重要な課題であります。

市街地近代化事業により建物や街路環境につきましましては一定の整備がなされ、近年、商工会や商店街協同組合により、花と緑とイルミネーションの美しい商店街づくりや活性化事業への自主的な取り組みが行なわれているところですが、今後はさらに多くの町民の皆さんや来訪者の方々から親しまれる環境づくりや共同事業の促進について、関係団体との連携と協議のもと支援してまいります。

本町の工業につきましましては、農産物・木材関連の加工業が中心ですが、特に近年の景気の低迷による住宅・木材需要の減退と原木・製材等の価格下落により、木材産業は極めて厳しい環境が続いておりますので、製材流通、就労・福利厚生対策について継続的な支援を行ってまいります。

仕観光の振興

豊 かな自然や美しい景観、質の高い農産物や加工食品をはじめとした地域資源を最大限に活かし、高い付加価値を生み出す体験型・滞在型観光やグリーンツーリズムの振興は、

観光や雇用、交流人口の拡大に大きな役割を果たすものです。幸い、清里町には斜里岳、裏摩周、神の子池など全国に発信できる優れた観光資源を数多く持つとともに、3つの温泉施設オートキャンプ場、焼酎工場、レストハウス、コミットなどの関連施設の整備を計画的に行なうことにより、訪れる方も年々増加する傾向にあります。

さらに、本年度、斜里岳山小屋の建設と江南町営牧場を中心としたパークゴルフ場等の整備に着手したところであり、既存の施設や観光資源、花と緑と交流のまちづくり事業による美しい街並み景観づくり、農村景観づくり等と連動した、総合的な観光振興の推進を図ってまいります。



仕焼酎事業の振興

焼 酎事業につきましましては、町民の皆さんや多くのきよさと焼酎愛飲家に支えられ、事業を開始して28年、現在地に工場を新設して17年を過ぎようとしております。

酒税の増税が平成9年度から現在まで3回実施されたにもかかわらず、ここ4年間の販売数量は焼酎ブームの再来や委託醸造の取組み、「浪漫倶楽部」の好評等により徐々に伸びをみせております。

今後、品質の高い製品の製造・販売とあわせ、会計収支の安定向上に努めてまいります。



また、町内外の交流の場として開催しております「みどりのフェスティバル」、「焼酎フェスティバル」と「ふるさと産業まつり」に加え、平成14年度から商工会が事業主体となって取り組んだ冬のイベントについて、新たな支援を行ってまいります。なお、緑清荘、パパスランドやレストハウスをはじめとした観光・集客施設につきましましては、財政状況を勘案しながら年次のな若返り工事に努めてまいります。